

図表タイトル 「理科は楽しい」との質問に対して肯定的な回答の児童・生徒の割合

(出所)

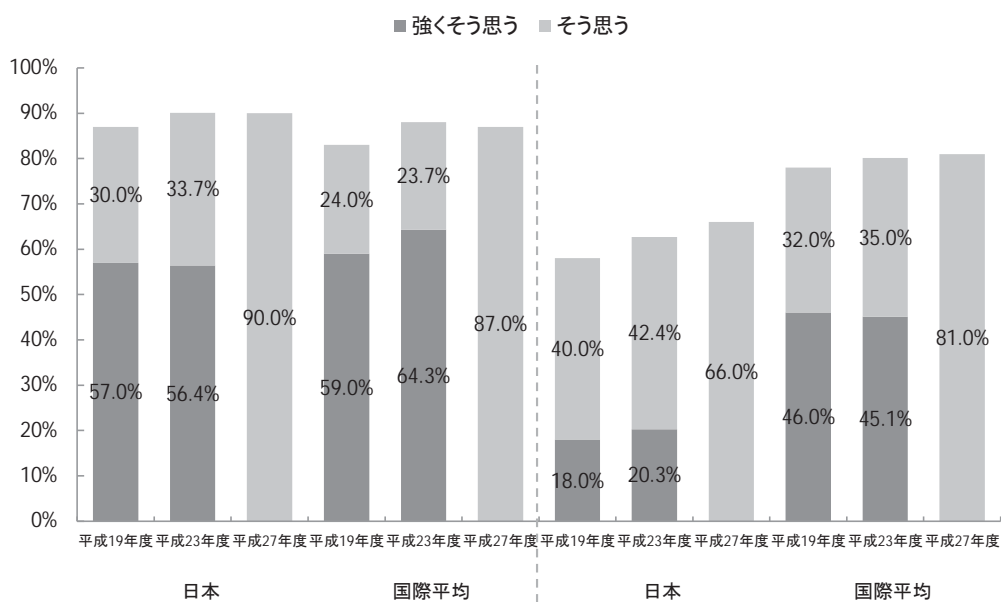
国立教育政策研究所『IEA国際数学・理科教育動向調査の2011年調査』および
文部科学省『国際数学・理科教育動向調査(TIMSS2015)のポイント』を基に作成。

(注)

(注1) TIMSS (Trends in International Mathematics and Science Study)調査は4年ごとに実施される。

(注2) 平成27年度は『理科は楽しい』『数学(算数)は楽しい』か否かのみ尋ねており、その程度は質問していない。

区分	単位	小学校4年生						中学校2年生					
		日本			国際平均値			日本			国際平均値		
		平成19年度	平成23年度	平成27年度	平成19年度	平成23年度	平成27年度	平成19年度	平成23年度	平成27年度	平成19年度	平成23年度	平成27年度
強く思う		57.0%	56.4%		59.0%	64.3%		18.0%	20.3%		46.0%	45.1%	
そう思う		30.0%	33.7%	90.0%	24.0%	23.7%	87.0%	40.0%	42.4%	66.0%	32.0%	35.0%	81.0%



図表タイトル 「数学(算数)は楽しい」との質問に対して肯定的な回答の児童・生徒の割合

(出所)

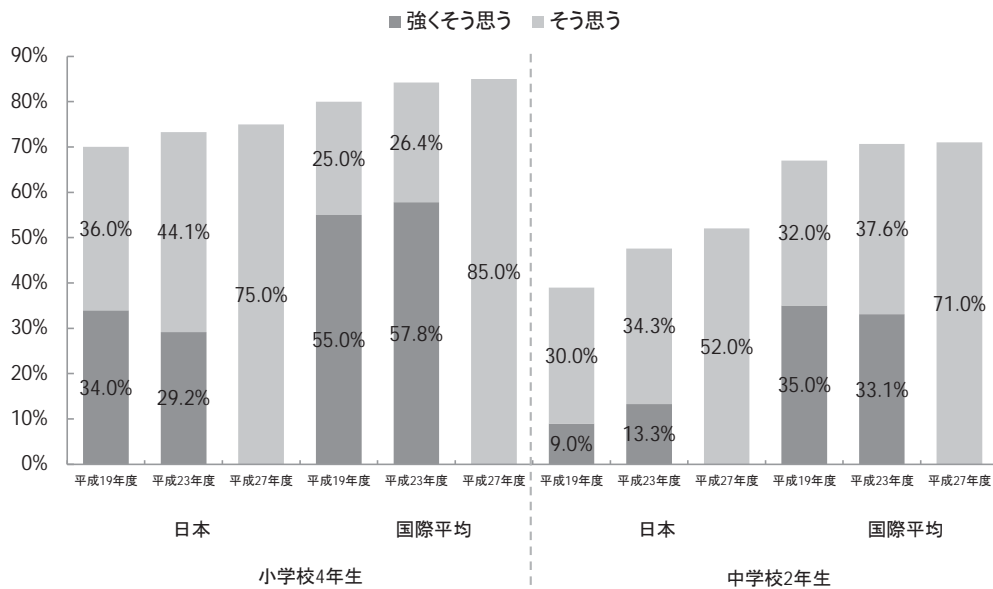
国立教育政策研究所『IEA国際数学・理科教育動向調査の2011年調査』および
文部科学省『国際数学・理科教育動向調査(TIMSS2015)のポイント』を基に作成。

(注)

(注1) TIMSS (Trends in International Mathematics and Science Study)調査は4年ごとに実施される。

(注2) 平成27年度は『理科は楽しい』『数学(算数)は楽しい』か否かのみ尋ねており、その程度は質問していない

区分	単位	小学校4年生						中学校2年生					
		日本			国際平均値			日本			国際平均値		
		平成19年度	平成23年度	平成27年度	平成19年度	平成23年度	平成27年度	平成19年度	平成23年度	平成27年度	平成19年度	平成23年度	平成27年度
強く思う		34.0%	29.2%	75.0%	55.0%	57.8%	85.0%	9.0%	13.3%	52.0%	35.0%	33.1%	
そう思う		36.0%	44.1%	75.0%	25.0%	26.4%	85.0%	30.0%	34.3%	52.0%	32.0%	37.6%	71.0%



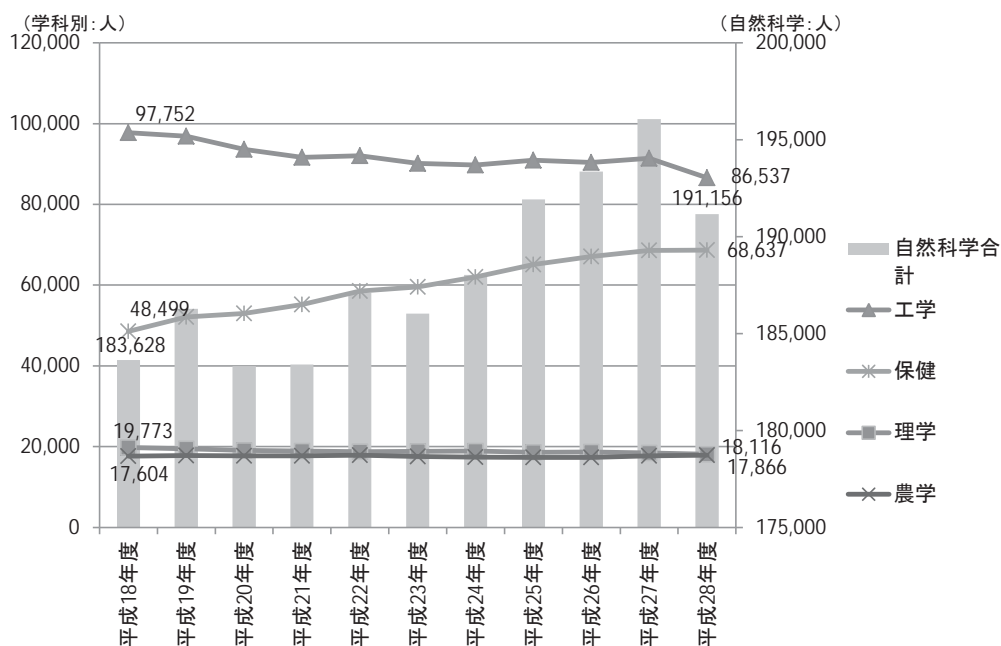
図表タイトル 大学の自然科学系学部への入学者数
大学入学者の分野構成

(出所)
文部科学省「学校基本調査」を基に作成。

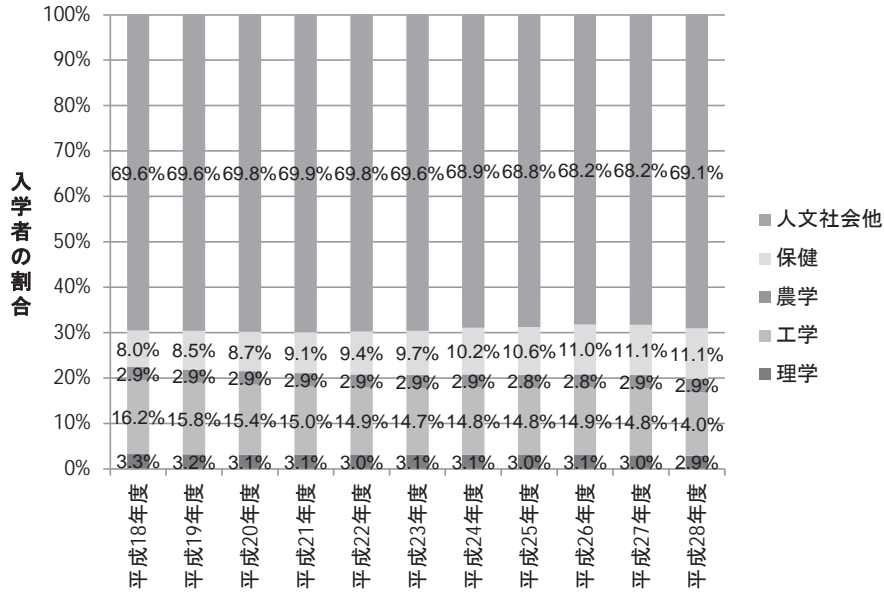
(注)
数値は調査年度の5月1日現在(平成28年度調査は平成28年5月1日現在)。

(単位:人)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
理学	19,773	19,494	19,039	18,872	18,761	18,825	18,909	18,576	18,643	18,397	18,116
工学	97,752	96,892	93,594	91,611	92,010	90,141	89,728	90,924	90,376	91,367	86,537
農学	17,604	17,767	17,703	17,743	17,847	17,516	17,365	17,304	17,294	17,696	17,866
保健	48,499	52,117	52,992	55,183	58,482	59,552	62,016	65,117	67,051	68,603	68,637
自然科学合計	183,628	186,270	183,328	183,409	187,100	186,034	188,018	191,921	193,364	196,063	191,156



	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
理学	3.3%	3.2%	3.1%	3.1%	3.0%	3.1%	3.1%	3.0%	3.1%	3.0%	2.9%
工学	16.2%	15.8%	15.4%	15.0%	14.9%	14.7%	14.8%	14.8%	14.9%	14.8%	14.0%
農学	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.9%	2.8%	2.8%	2.9%	2.9%
保健	8.0%	8.5%	8.7%	9.1%	9.4%	9.7%	10.2%	10.6%	11.0%	11.1%	11.1%
人文社会他	69.6%	69.6%	69.8%	69.9%	69.8%	69.6%	68.9%	68.8%	68.2%	68.2%	69.1%



図表タイトル 国際科学オリンピック国内大会への参加者数

(出所)

文部科学省「科学オリンピックをめぐる現状と次世代の科学技術イノベーションを担う人材の育成について」を基に作成。

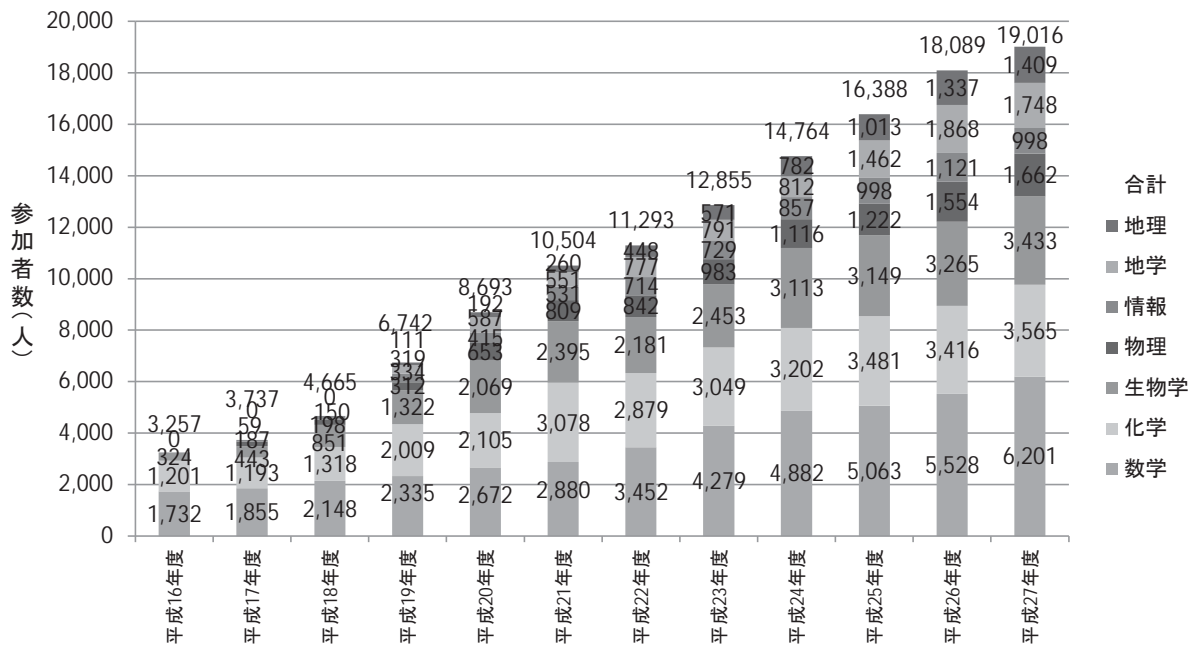
(注)

(注1)参加者数は次年度の国際大会に向けた、主に高校生を対象とした国内大会の受験者数を指す。

(注2)「数学」は、日本数学オリンピック(高校生以下対象)と日本ジュニア数学オリンピック(中学生以下対象)の二つの国内大会の合計値である。

(単位:人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
地理	0	0	0	111	192	260	448	571	782	1,013	1,337	1,409
地学	0	0	0	319	587	551	777	791	812	1,462	1,868	1,748
情報	0	59	150	334	415	531	714	729	857	998	1,121	998
物理	0	187	198	312	653	809	842	983	1,116	1,222	1,554	1,662
生物学	324	443	851	1,322	2,069	2,395	2,181	2,453	3,113	3,149	3,265	3,433
化学	1,201	1,193	1,318	2,009	2,105	3,078	2,879	3,049	3,202	3,481	3,416	3,565
数学	1,732	1,855	2,148	2,335	2,672	2,880	3,452	4,279	4,882	5,063	5,528	6,201
合計	3,257	3,737	4,665	6,742	8,693	10,504	11,293	12,855	14,764	16,388	18,089	19,016

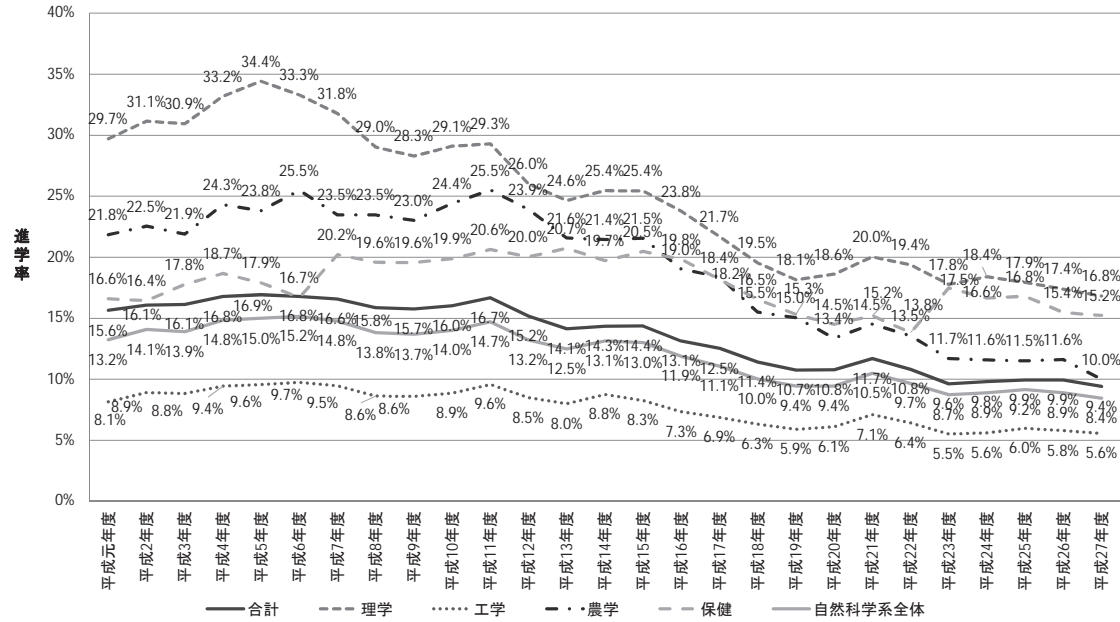


図表タイトル 博士課程への進学率

(出所)
文部科学省「学校基本調査」を基に作成。

(注1) 各年度修士課程修了者の進学状況
(注2) 博士課程進学率=当該年度の修士課程修了者のうち、進路を進学とした者の割合としている。
(注3) 自然科学系全体は、理学、工学、農学、保健の合計。

年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
合計	15.6%	16.1%	16.1%	16.8%	16.9%	16.8%	16.6%	15.8%	15.7%	16.0%	16.7%	15.2%	14.1%	14.3%	14.4%	13.1%	12.5%	11.4%	10.7%	10.8%	11.7%	10.8%	9.6%	9.8%	9.9%	9.9%	9.4%
理学	29.7%	31.1%	30.9%	33.2%	34.4%	33.3%	31.8%	29.0%	28.3%	29.1%	29.3%	26.0%	24.6%	25.4%	25.4%	23.8%	21.7%	19.5%	18.1%	18.6%	20.0%	19.4%	17.8%	18.4%	17.9%	17.4%	16.8%
工学	8.1%	8.9%	8.8%	9.4%	9.6%	9.7%	9.5%	8.6%	8.6%	8.9%	9.6%	8.5%	8.0%	8.8%	8.3%	7.3%	6.9%	6.3%	5.9%	6.1%	7.1%	6.4%	5.5%	5.6%	6.0%	5.8%	5.6%
農学	21.8%	22.5%	21.9%	24.3%	23.8%	23.5%	23.5%	23.5%	23.0%	24.4%	25.5%	23.9%	21.6%	23.9%	21.4%	21.5%	19.0%	18.4%	15.5%	15.0%	13.4%	14.5%	13.5%	11.7%	11.6%	11.5%	10.0%
保健	16.6%	16.4%	17.8%	18.7%	17.9%	16.7%	20.2%	19.6%	19.6%	19.9%	20.6%	20.0%	20.7%	19.7%	20.5%	19.8%	18.2%	16.5%	15.3%	14.5%	15.2%	13.8%	17.5%	16.6%	16.8%	15.4%	15.2%
自然科学系全体	13.2%	14.1%	13.9%	14.8%	15.0%	15.2%	14.8%	13.8%	13.7%	14.0%	14.7%	13.2%	12.5%	13.1%	13.0%	11.9%	11.1%	10.0%	9.4%	9.4%	10.5%	9.7%	8.7%	8.9%	9.2%	8.9%	8.4%



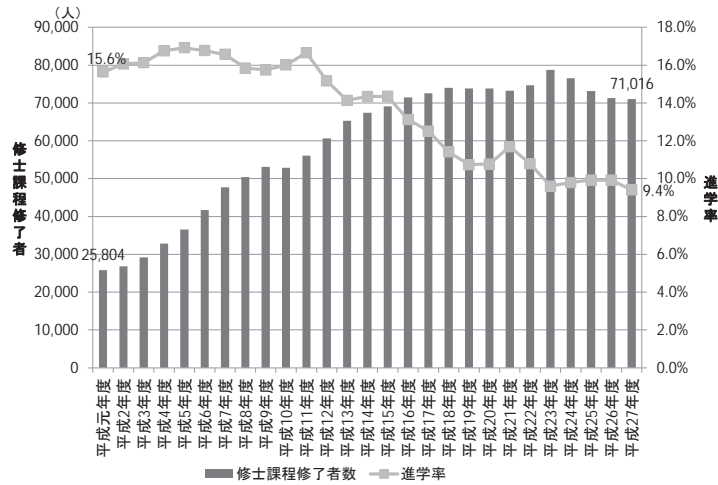
図表タイトル 修士課程修了者数

(出所)
文部科学省「学校基本調査」を基に作成。

(注)
(注1)各年度修士課程修了者の進学状況
(注2)博士課程進学率=当該年度の修士課程修了者のうち、進路を進学とした者の割合としている。

単位(上段):人

年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
修士課程修了者数	25,804	26,815	29,193	32,847	36,581	41,681	47,747	50,430	53,153	52,850	56,038	60,635	65,275	67,412	69,073	71,440	72,531	73,993	73,881	73,811	73,220	74,680	78,711	76,511	73,154	71,301	71,016
進学率	15.6%	16.1%	16.1%	16.8%	16.9%	16.8%	16.6%	15.8%	15.7%	16.0%	16.7%	15.2%	14.1%	14.3%	14.4%	13.1%	12.5%	11.4%	10.7%	10.8%	11.7%	10.8%	9.6%	9.8%	9.9%	9.9%	9.4%



図表タイトル 博士課程に進学するための環境(意識調査)

(出所)

文部科学省科学技術・学術政策研究所「NISTEP定点調査」を基に作成。

(注)

(注1) 本調査は、第4期科学技術基本計画中の平成23年度～平成27年度の5年間にわたって実施されたものである。

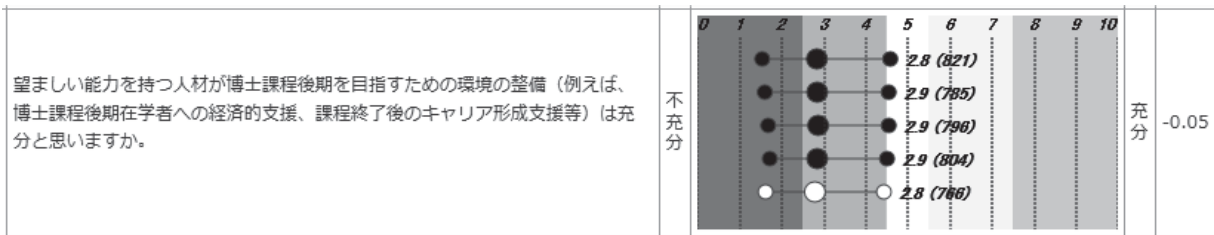
(注2) 調査対象者は、大学・公的研究機関グループ(約1,000名)とイノベーション俯瞰グループ(約500名)からなる。前者は大学・公的研究機関の長や教員・研究者から構成され、後者は産業界等の有識者や研究開発とイノベーションの橋渡しを行っている方などから構成されている。大学・公的研究機関グループには、大学や公的研究機関の現場の状況を中心に、イノベーション俯瞰グループには我が国の科学技術やイノベーションの状況を俯瞰的にみた立場からの回答を求めている。括弧内の数字は当該設問への有効回答数である。

(注3) 数値は、6段階評価(1～6)からの回答を、1→0ポイント、2→2ポイント、3→4ポイント、4→6ポイント、5→8ポイント、6→10ポイントに変換し、その合計値を有効回答者数で除したもの。指数のレンジは0.0ポイント～10.0ポイントとなる。図中の「指数変化」は、平成23年度調査結果から平成27年度調査結果までの指数変化である。

(注4) 指標の解釈にあたっての考え方としては、指数5.5以上で「状況に問題はない」、指数4.5以上～5.5未満で「ほぼ問題はない」、指数3.5以上～4.5未満で「不十分」、指数2.5以上～3.5未満で「不十分との強い認識」、指数2.5未満で「著しく不十分との認識」とされている。

(注5) 本表では、時系列に上から下に行くに従い新しい年度の調査結果を示す。一番上の結果が平成23年度、一番下の結果が平成27年度である。

(注6) 各年度の丸印は、左から第1四分位、平均値、第3四分位を表している。



図表タイトル ポストドクター等の延べ人数

(出所)

文部科学省・文部科学省科学技術・学術政策研究所「ポストドクター等の雇用・進路に関する調査—大学・公的研究機関への全数調査(2012年度実績)—」を基に作成。

(注)

(注1) 本調査における「ポストドクター等」の定義は、博士の学位を取得後、任期付で任用される者であり、①大学等の研究機関で研究業務に従事している者であって、教授・准教授・助教・助手等の職にない者や、②独立行政法人等の研究機関において研究業務に従事している者のうち、所属する研究グループのリーダー・主任研究員等でない者。(博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を取得の上退学した者(いわゆる「満期退学者」)を含む。)

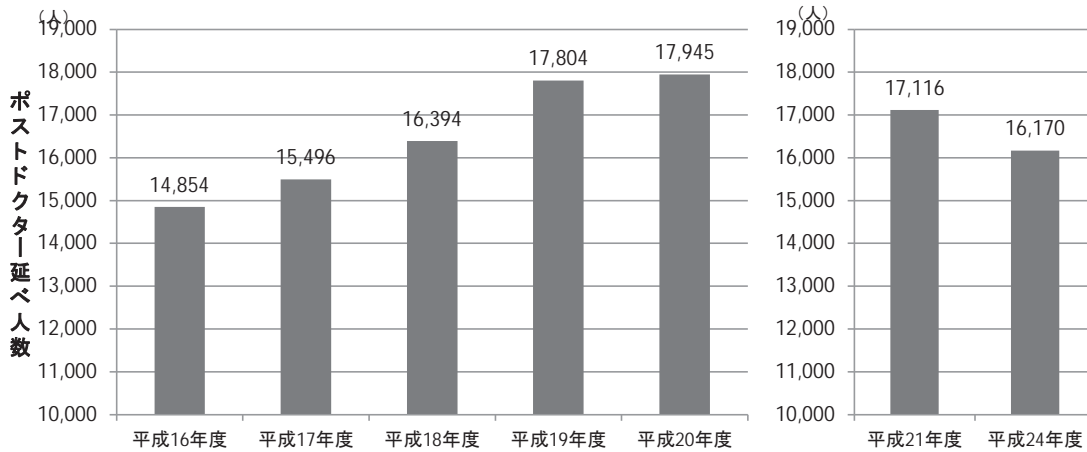
(注2) 公設試験研究機関は、同一の機関であっても、研究所・試験場・センター等があれば、研究所・試験場・センター等の単位で調査している。

(注3) 本調査は、平成24年度の雇用期間の合計が2ヵ月以上のポストドクター等を調査対象としており、同一のポストドクター等が複数の機関にて計上される可能性があるため、延べ人数としている。

(注4) 平成20年度実績以前は、雇用財源毎にポストドクター等を計上しており、複数の雇用財源による同一人物の重複計上の有無が判別できないため、平成20年度実績以前の延べ人数と、平成21年度実績以降の延べ人数を厳密に比較することはできない。

(単位:人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成24年度
延べ人数	14,854	15,496	16,394	17,804	17,945	17,116	16,170



図表タイトル **ポストドクター年齢構成
年齢階層別ポストドクター数**

(出所)

文部科学省「ポストドクター等の雇用・進路に関する調査－大学・公的研究機関への全数調査(2012年度実績)－」を基に作成。

(注)

(注1) 生年不明者を除く。

(注2) 本調査における「ポストドクター等」の定義は、博士の学位を取得後、任期付で任用される者であり、①大学等の研究機関で研究業務に従事している者であって、教授・准教授・助教・助手等の職にない者や、②独立行政法人等の研究機関において研究業務に従事している者のうち、所属する研究グループのリーダー・主任研究員等でない者。(博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を取得の上退学した者(いわゆる「満期退学者」)を含む。)

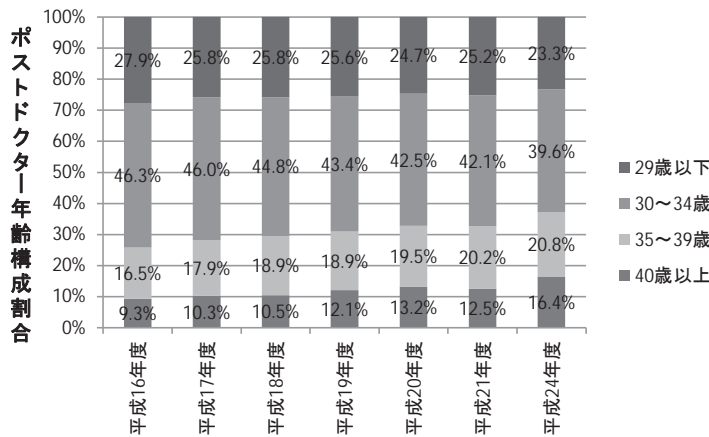
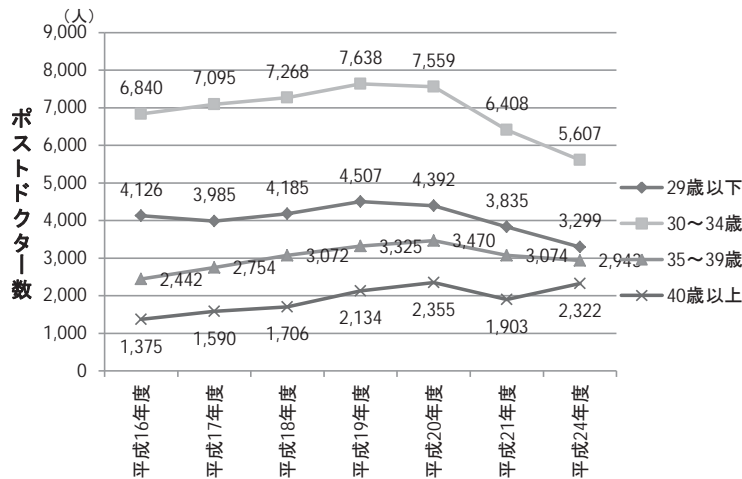
(注3) 公設試験研究機関は、同一の機関であっても、研究所・試験場・センター等があれば、研究所・試験場・センター等の単位で調査している。

(注4) 本調査は、平成24年度の雇用期間の合計が2ヵ月以上のポストドクター等を調査対象としており、同一のポストドクター等が複数の機関にて計上される可能性があるため、延べ人数としている。

(注5) 平成20年度実績以前は、雇用財源毎にポストドクター等を計上しており、複数の雇用財源による同一人物の重複計上の有無が判別できないため、平成20年度実績以前の延べ人数と、平成21年度実績以降の延べ人数を厳密に比較することはできない。

(単位:人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成24年度
29歳以下	4,126	3,985	4,185	4,507	4,392	3,835	3,299
30～34歳	6,840	7,095	7,268	7,638	7,559	6,408	5,607
35～39歳	2,442	2,754	3,072	3,325	3,470	3,074	2,943
40歳以上	1,375	1,590	1,706	2,134	2,355	1,903	2,322
不明	71	72	163	200	169	0	4



図表タイトル 科研費年齢別応募・採択件数および採択率

(出所)

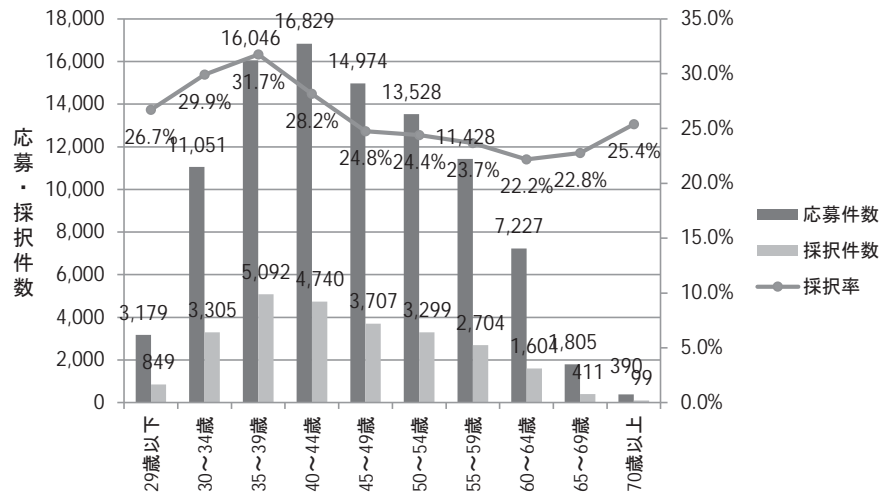
日本学術振興会 科研費データ(年齢別・男女別・職別配分状況)28年度を基に作成。

(注)

(注1)集計対象は、科研費の基盤研究(S・A・B・C)・若手研究(A・B)・挑戦的萌芽研究・研究活動スタート支援である。

(注2)平成28年度の実績である。

	(単位:件)	(単位:件)	
	応募件数	採択件数	採択率
29歳以下	3,179	849	26.7%
30～34歳	11,051	3,305	29.9%
35～39歳	16,046	5,092	31.7%
40～44歳	16,829	4,740	28.2%
45～49歳	14,974	3,707	24.8%
50～54歳	13,528	3,299	24.4%
55～59歳	11,428	2,704	23.7%
60～64歳	7,227	1,604	22.2%
65～69歳	1,805	411	22.8%
70歳以上	390	99	25.4%



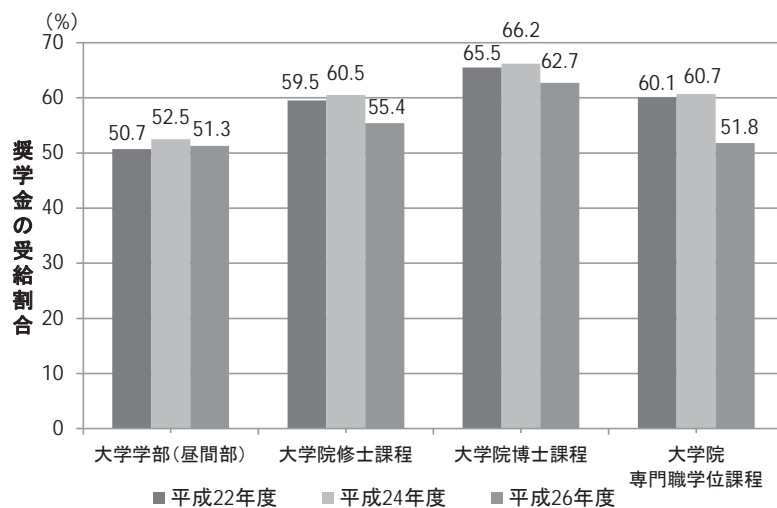
図表タイトル 日本学生支援機構や大学等の奨学金を受給している者の割合

(出所)

「独立行政法人日本学生支援機構実施調査 調査票集」を基に作成。

(単位:%)

区分	平成22年度	平成24年度	平成26年度
大学学部(昼間部)	50.7	52.5	51.3
大学院修士課程	59.5	60.5	55.4
大学院博士課程	65.5	66.2	62.7
大学院 専門職学位課程	60.1	60.7	51.8



図表タイトル 経済的支援の受給額(推移)
経済的支援の平均受給額(財源別)

(出所)

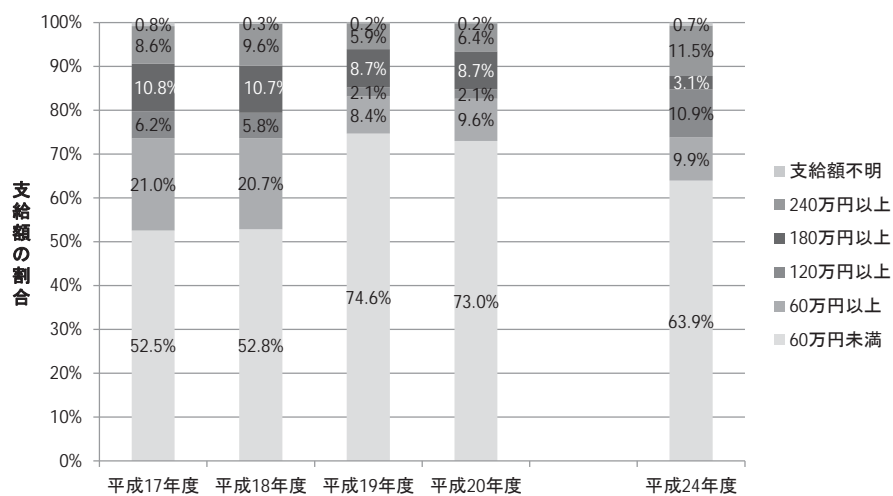
文部科学省「平成25年度「先導的・大学の改革推進委託事業」博士課程学生の経済的支援状況と進路実態に係る調査研究」を基に作成。

(注)

(注1) 図表1は各年度における授業料減免措置を除いた1制度・1人あたり受給額。図表2は平成24年度における、財源別に見た1人あたり平均受給額。

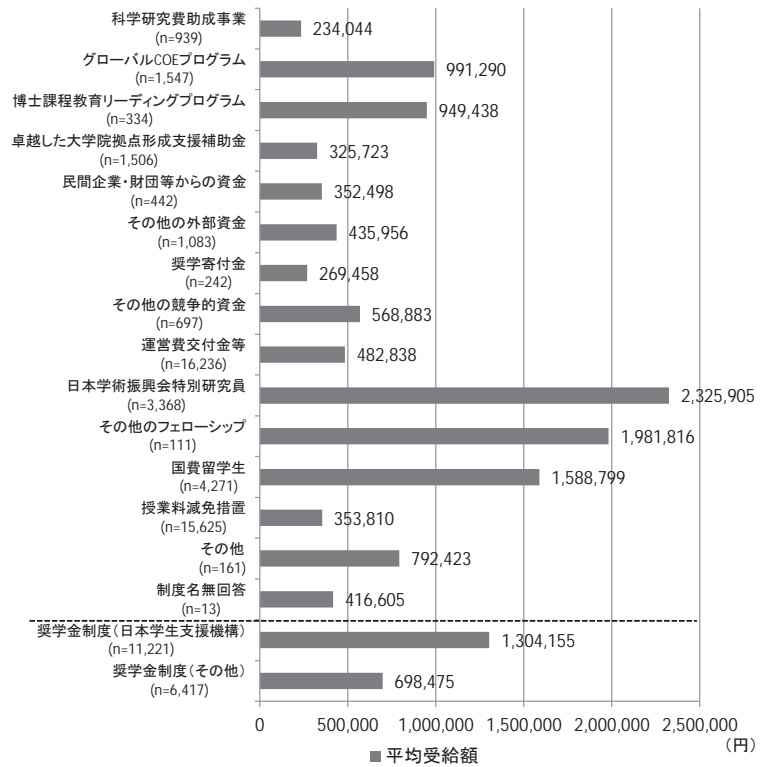
(注2) 「奨学金制度(日本学生支援機構、その他)」は、返還が必要な貸与が多く含まれるが、参考として掲載。

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成24年度
60万円未満	52.5%	52.8%	74.6%	73.0%	63.9%
60万円以上	21.0%	20.7%	8.4%	9.6%	9.9%
120万円以上	6.2%	5.8%	2.1%	2.1%	10.9%
180万円以上	10.8%	10.7%	8.7%	8.7%	3.1%
240万円以上	8.6%	9.6%	5.9%	6.4%	11.5%
支給額不明	0.8%	0.3%	0.2%	0.2%	0.7%



(単位:円)

	受給額
科学研究費助成事業 (n=939)	234,044
グローバルCOEプログラム (n=1,547)	991,290
博士課程教育リーディングプログラム (n=334)	949,438
卓越した大学院拠点形成支援補助金 (n=1,506)	325,723
民間企業・財団等からの資金 (n=442)	352,498
その他の外部資金 (n=1,083)	435,956
奨学寄付金 (n=242)	269,458
その他の競争的資金 (n=697)	568,883
運営費交付金等 (n=16,236)	482,838
日本学術振興会特別研究員 (n=3,368)	2,325,905
その他のフェロースhip (n=111)	1,981,816
国費留学生 (n=4,271)	1,588,799
授業料減免措置 (n=15,625)	353,810
その他 (n=161)	792,423
制度名無回答 (n=13)	416,605
奨学金制度(日本学生支援機構) (n=11,221)	1,304,155
奨学金制度(その他) (n=6,417)	698,475



図表タイトル 教員の研究資金(年齢階層別)

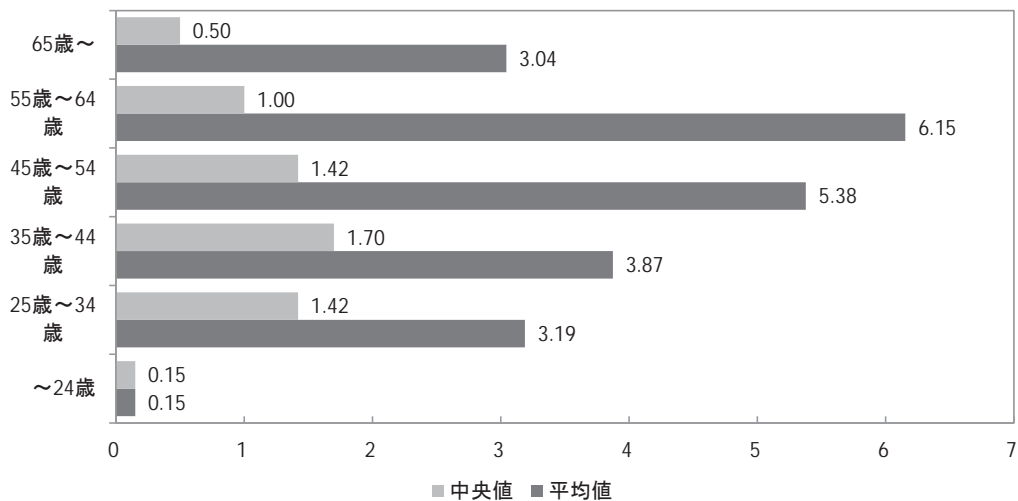
(出所)
文部科学省「大学等におけるフルタイム換算データに関する調査」平成25年度を基に作成。

(注)
「平成24年度における個人又は研究代表者として得た研究資金の金額」
金額は内部資金と外部資金(間接経費を除く)の合計。平成24年度に入金された時点の金額であり、複数年にわたる研究資金について平成24年度の金額が確定していない場合は、その金額を案分した一年あたりの金額。他機関の研究分担者に研究資金を振り分けている場合は、その資金を除く。

(単位:百万円) (単位:人)

	平均値	中央値	標準偏差	推定 母集団数
～24歳	0.15	0.15	0.00	133
25歳～34歳	3.19	1.42	7.04	17,899
35歳～44歳	3.87	1.70	8.14	61,414
45歳～54歳	5.38	1.42	19.31	58,133
55歳～64歳	6.15	1.00	20.71	43,879
65歳～	3.04	0.50	14.96	6,151

平成24年度の研究資金総額(百万円)



図表タイトル TA採用学生数(課程別)(国立大学)

(出所)

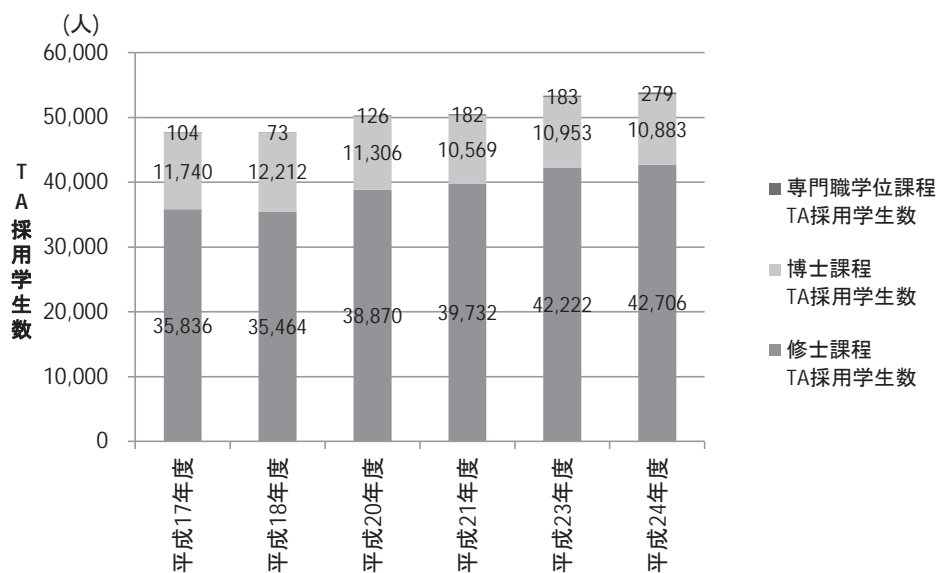
文部科学省『各大学院における「大学院教育振興施策要綱」に関する取組の調査結果について』各年度を基に作成。

(注)

TA(Teaching Assistant)とは、学部学生等に対するチュータリング(助言)や実験、実習、演習等の教育補助業務(具体的には、演習のディスカッションリーダー、レポート・試験等の採点など)を行い、これに対する手当を支給される大学院学生を指す。平成19年度及び平成22年度は調査を実施していない。

(単位:人)

年度	計	修士課程	博士課程	専門職学位課程
		TA採用学生数	TA採用学生数	TA採用学生数
平成17年度	47,680	35,836	11,740	104
平成18年度	47,749	35,464	12,212	73
平成20年度	50,302	38,870	11,306	126
平成21年度	50,483	39,732	10,569	182
平成23年度	53,358	42,222	10,953	183
平成24年度	53,868	42,706	10,883	279



図表タイトル RA採用学生数(課程別)(国立大学)

(出所)

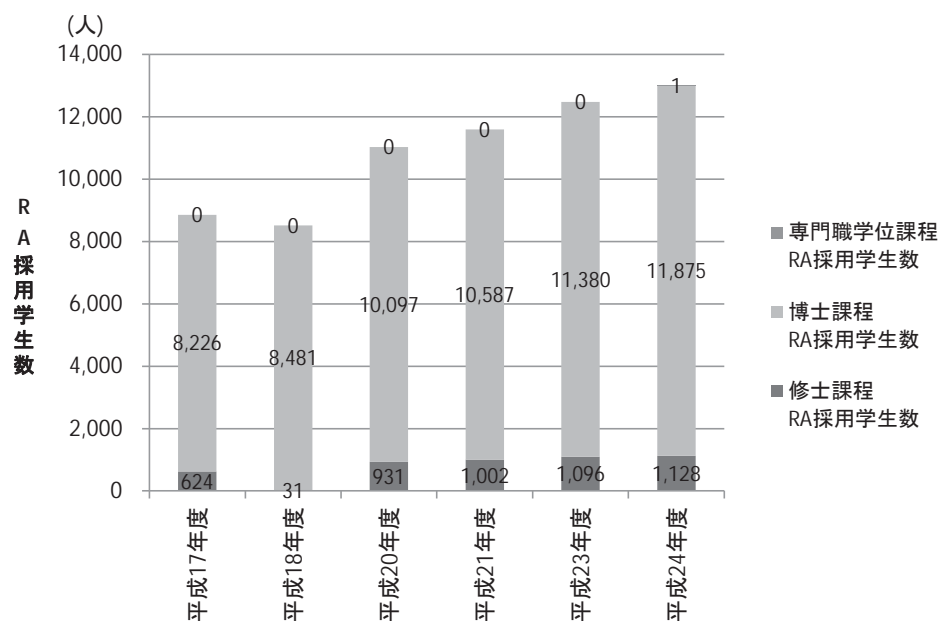
文部科学省『各大学院における「大学院教育振興施策要綱」に関する取組の調査結果について』各年度を基に作成。

(注)

RA(Research Assistant)とは、大学等が行う研究プロジェクト等の研究補助業務(具体的には、データ処理業務、各種実験の実施及び補助、研究設備の運転・整備等)を行い、これに対する手当を支給される大学院学生を指す。平成19年度及び平成22年度は調査を実施していない。

(単位:人)

年度	計	修士課程	博士課程	専門職学位課程
		RA採用学生数	RA採用学生数	RA採用学生数
平成17年度	8,850	624	8,226	0
平成18年度	8,512	31	8,481	0
平成20年度	11,028	931	10,097	0
平成21年度	11,589	1,002	10,587	0
平成23年度	12,476	1,096	11,380	0
平成24年度	13,004	1,128	11,875	1



図表タイトル 大学院の社会人学生数・学生割合(全学生に占める割合)

(出所)

文部科学省「学校基本調査」を基に作成。

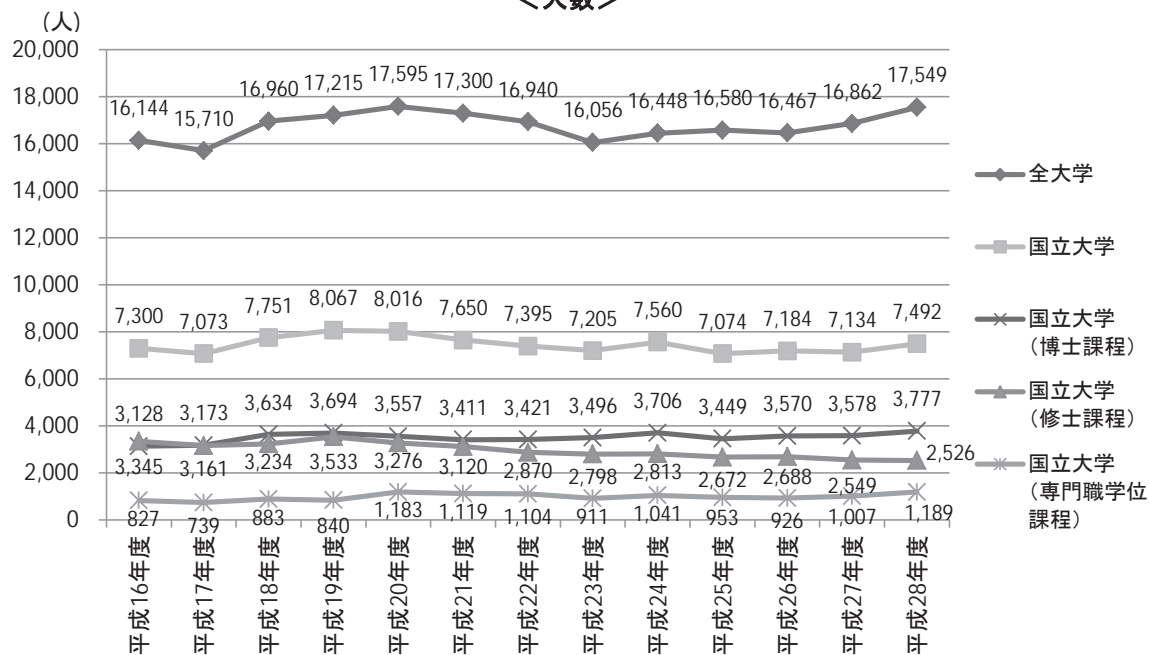
(注)

数値は各年度の5月1日現在。

(単位:人)

	全大学				
	国立大学				
		国立大学 (修士課程)	国立大学 (博士課程)	国立大学 (専門職学位 課程)	
平成16年度	16,144	7,300	3,345	3,128	827
平成17年度	15,710	7,073	3,161	3,173	739
平成18年度	16,960	7,751	3,234	3,634	883
平成19年度	17,215	8,067	3,533	3,694	840
平成20年度	17,595	8,016	3,276	3,557	1,183
平成21年度	17,300	7,650	3,120	3,411	1,119
平成22年度	16,940	7,395	2,870	3,421	1,104
平成23年度	16,056	7,205	2,798	3,496	911
平成24年度	16,448	7,560	2,813	3,706	1,041
平成25年度	16,580	7,074	2,672	3,449	953
平成26年度	16,467	7,184	2,688	3,570	926
平成27年度	16,862	7,134	2,549	3,578	1,007
平成28年度	17,549	7,492	2,526	3,777	1,189

<人数>



図表タイトル 大学院の社会人学生数・学生割合(全学生に占める割合)

(出所)

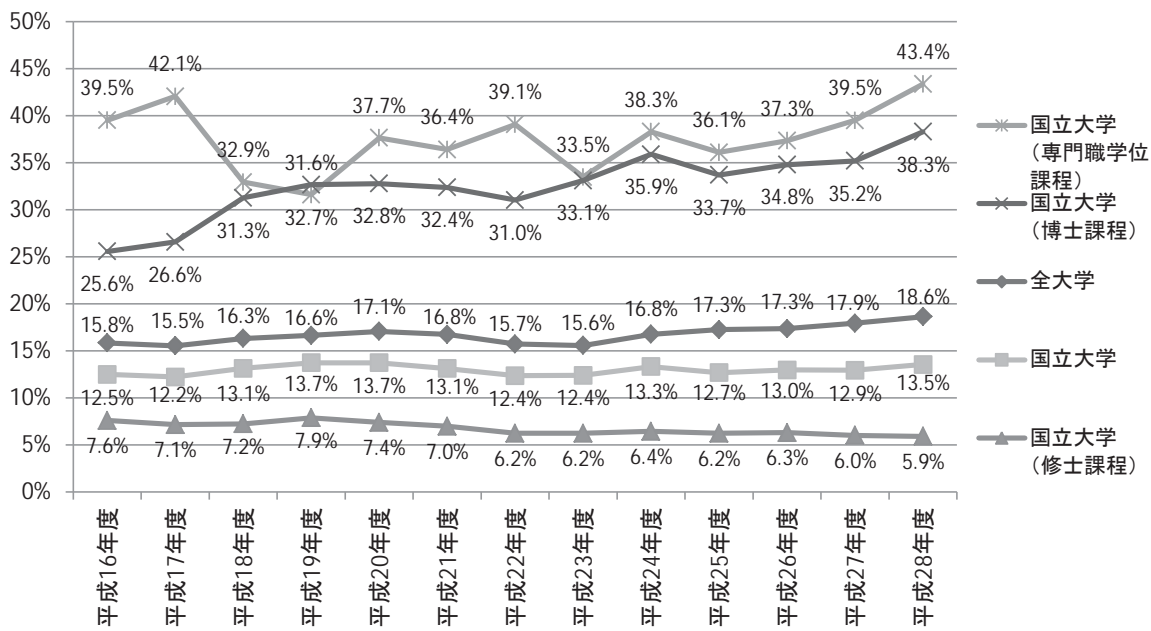
文部科学省「学校基本調査」を基に作成。

(注)

数値は各年度の5月1日現在。

	全大学				
	国立大学	国立大学			国立大学 (専門職学位 課程)
		国立大学 (修士課程)	国立大学 (博士課程)	国立大学 (専門職学位 課程)	
平成16年度	15.8%	12.5%	7.6%	25.6%	39.5%
平成17年度	15.5%	12.2%	7.1%	26.6%	42.1%
平成18年度	16.3%	13.1%	7.2%	31.3%	32.9%
平成19年度	16.6%	13.7%	7.9%	32.7%	31.6%
平成20年度	17.1%	13.7%	7.4%	32.8%	37.7%
平成21年度	16.8%	13.1%	7.0%	32.4%	36.4%
平成22年度	15.7%	12.4%	6.2%	31.0%	39.1%
平成23年度	15.6%	12.4%	6.2%	33.1%	33.5%
平成24年度	16.8%	13.3%	6.4%	33.1%	38.3%
平成25年度	17.3%	12.7%	6.2%	33.7%	36.1%
平成26年度	17.3%	13.0%	6.3%	34.8%	37.3%
平成27年度	17.9%	12.9%	6.0%	35.2%	39.5%
平成28年度	18.6%	13.5%	5.9%	38.3%	43.4%

<割合>



図表タイトル 博士課程修了者の職業別就職者数(全体)(大学等)

(出所)

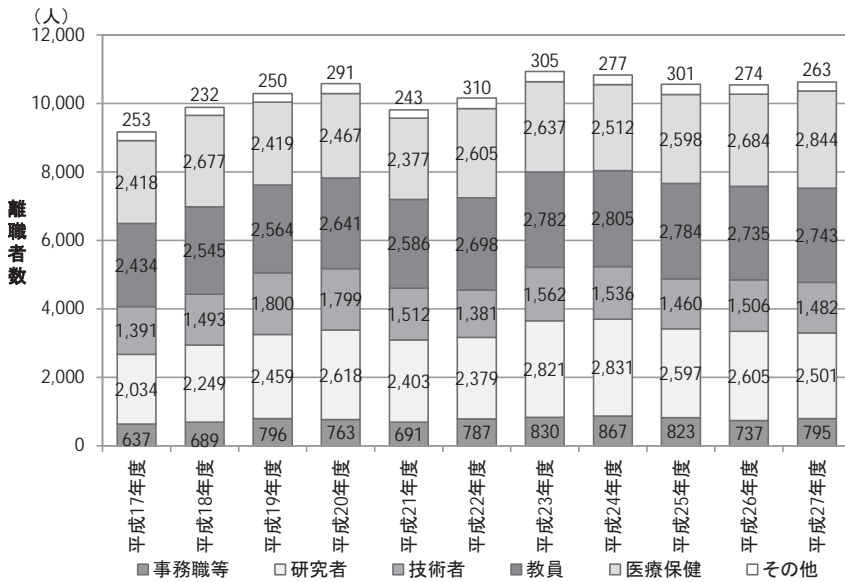
文部科学省「学校基本調査」を基に作成。

(注)

事務職等は、管理的職業従事者・事務従事者・販売従事者・サービス職業従事者等を指す。技術者とは、農林水産技術者・製造技術者・建築・土木・測量技術者・情報処理・通信技術者等を指す。医療保健とは、医師・歯科医師・獣医師・薬剤師・保健師・助産師・看護師・医療技術者等を指す。その他は、美術・写真・デザイナー・音楽・舞台芸術家・その他の専門的・技術的職業従事者を指す。

(単位:人)

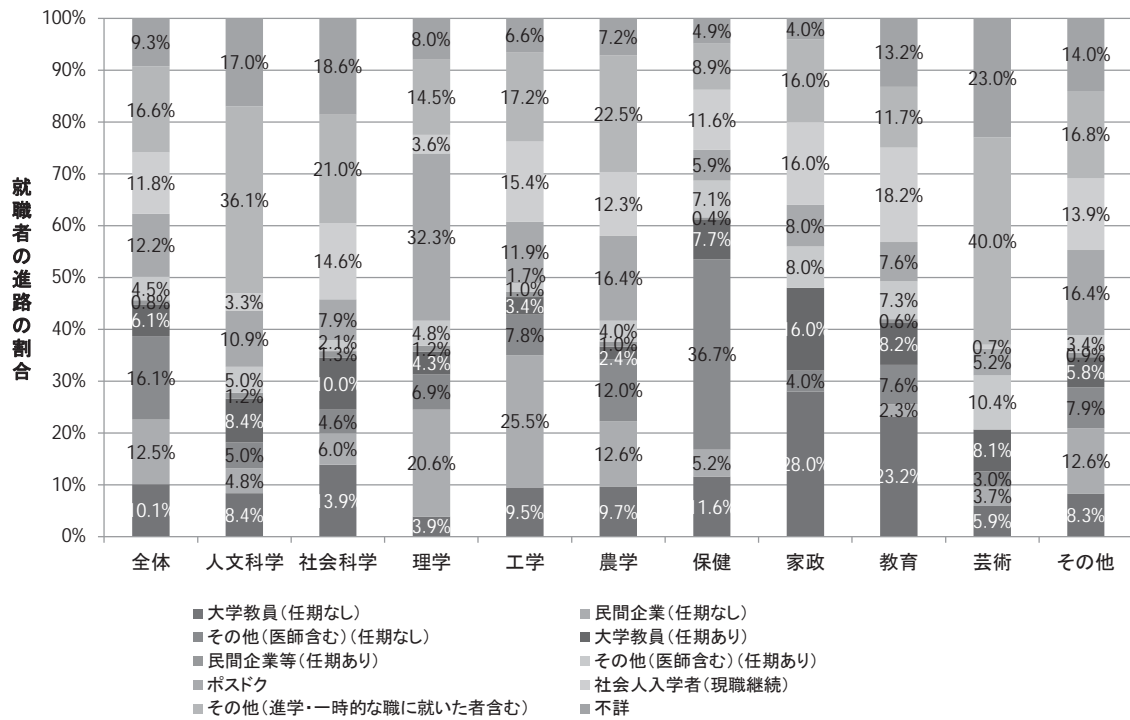
年度	計	職業別					
		事務職等	研究者	技術者	教員	医療保健	その他
平成17年度	9,167	637	2,034	1,391	2,434	2,418	253
平成18年度	9,885	689	2,249	1,493	2,545	2,677	232
平成19年度	10,288	796	2,459	1,800	2,564	2,419	250
平成20年度	10,579	763	2,618	1,799	2,641	2,467	291
平成21年度	9,812	691	2,403	1,512	2,586	2,377	243
平成22年度	10,160	787	2,379	1,381	2,698	2,605	310
平成23年度	10,937	830	2,821	1,562	2,782	2,637	305
平成24年度	10,828	867	2,831	1,536	2,805	2,512	277
平成25年度	10,563	823	2,597	1,460	2,784	2,598	301
平成26年度	10,541	737	2,605	1,506	2,735	2,684	274
平成27年度	10,628	795	2,501	1,482	2,743	2,844	263



図表タイトル 博士課程修了者の就職者の進路

(出所)
文部科学省「平成26年度大学院活動状況調査結果(概要版)」を基に作成。

	大学教員 (任期なし)	民間企業 (任期なし)	その他(医師含む) (任期なし)	大学教員 (任期あり)	民間企業 等(任期あり)	その他(医師含む) (任期あり)	ポスドク	社会人入 学者(現職 継続)	その他(進学・一時的 な職に就いた者含む)	不詳
全体	10.1%	12.5%	16.1%	6.1%	0.8%	4.5%	12.2%	11.8%	16.6%	9.3%
人文科学	8.4%	4.8%	5.0%	8.4%	1.2%	5.0%	10.9%	3.3%	36.1%	17.0%
社会科学	13.9%	6.0%	4.6%	10.0%	1.3%	2.1%	7.9%	14.6%	21.0%	18.6%
理学	3.9%	20.6%	6.9%	4.3%	1.2%	4.8%	32.3%	3.6%	14.5%	8.0%
工学	9.5%	25.5%	7.8%	3.4%	1.0%	1.7%	11.9%	15.4%	17.2%	6.6%
農学	9.7%	12.6%	12.0%	2.4%	1.0%	4.0%	16.4%	12.3%	22.5%	7.2%
保健	11.6%	5.2%	36.7%	7.7%	0.4%	7.1%	5.9%	11.6%	8.9%	4.9%
家政	28.0%	0.0%	4.0%	16.0%	0.0%	8.0%	8.0%	16.0%	16.0%	4.0%
教育	23.2%	2.3%	7.6%	8.2%	0.6%	7.3%	7.6%	18.2%	11.7%	13.2%
芸術	5.9%	3.7%	3.0%	8.1%	0.0%	10.4%	5.2%	0.7%	40.0%	23.0%
その他	8.3%	12.6%	7.9%	5.8%	0.9%	3.4%	16.4%	13.9%	16.8%	14.0%



図表タイトル 「URAとして配置」と整理する者の雇用形態・年齢構成・職務(大学等)

(出所)

文部科学省「平成27年度大学等における産学連携等実施状況調査」の関連調査を基に作成。

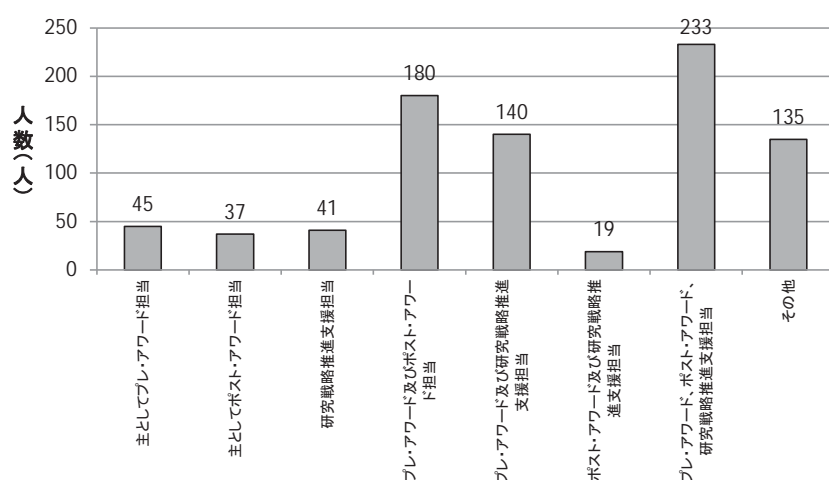
(注)

(注1) 大学等には、大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関を含む。

(注2) URA/RAの業務別人数については、複数の業務に携わっている者も1人としてカウントした。例えば「プレ・アワードに關与している者」は図表1の「主としてプレ・アワード担当」、「プレ・アワード及びポスト・アワード担当」、「プレ・アワード及び研究戦略推進支援担当」、「プレ・アワード、ポスト・アワード、研究戦略推進支援担当」、の合計となる。従って、複数の業務に携わっている者は、重複してカウントされていることに注意が必要である。

(単位:人)

	主としてプレ・アワード担当	主としてポスト・アワード担当	研究戦略推進支援担当	プレ・アワード及びポスト・アワード担当	プレ・アワード及び研究戦略推進支援担当	ポスト・アワード及び研究戦略推進支援担当	プレ・アワード、ポスト・アワード、研究戦略推進支援担当	その他	小計
合計	45	37	41	180	140	19	233	135	830



図表タイトル 「URAとして配置」と整理する者の雇用形態・年齢構成・職務(大学等)

(出所)

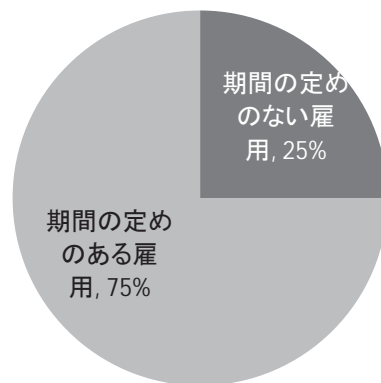
文部科学省「平成27年度大学等における産学連携等実施状況調査」の関連調査を基に作成。

(注)

(注1)大学等には、大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関を含む。

(注2)URA/RAの業務別人数については、複数の業務に携わっている者も1人としてカウントした。例えば「プレ・アワードに参与している者」は図表1の「主としてプレ・アワード担当」、「プレ・アワード及びポスト・アワード担当」、「プレ・アワード及び研究戦略推進支援担当」、「プレ・アワード、ポスト・アワード、研究戦略推進支援担当」、の合計となる。従って、複数の業務に携わっている者は、重複してカウントされていることに注意が必要である。

年度	計	雇用形態	
		期間の定めのない雇用	期間の定めのある雇用
平成27年度	100%	25%	75%



図表タイトル「URAとして配置」と整理する者の雇用形態・年齢構成・職務(大学等)

(出所)

文部科学省「平成27年度大学等における産学連携等実施状況調査」の関連調査を基に作成。

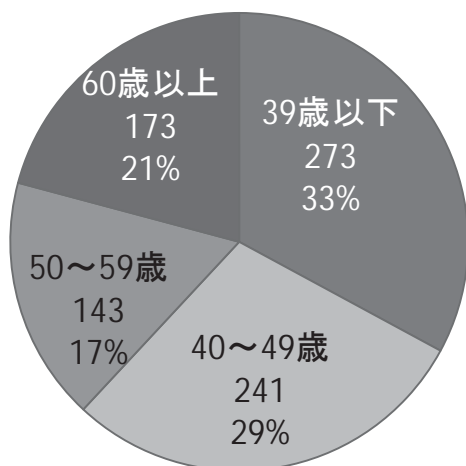
(注)

(注1)大学等には、大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関を含む。

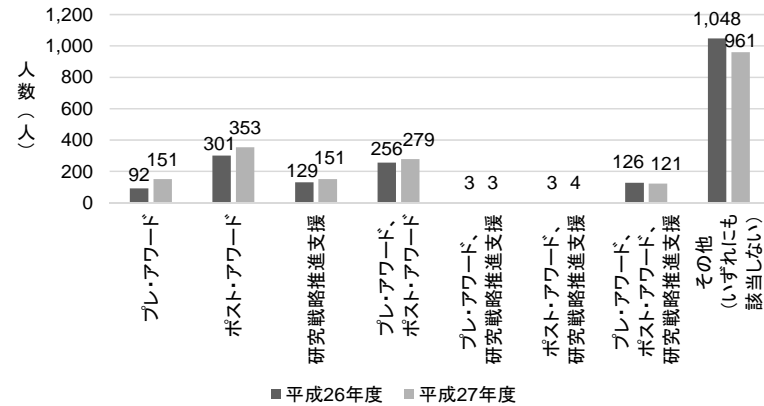
(注2)URA/RAの業務別人数については、複数の業務に携わっている者も1人としてカウントした。例えば「プレ・アワードに関与している者」は図表1の「主としてプレ・アワード担当」、「プレ・アワード及びポスト・アワード担当」、「プレ・アワード及び研究戦略推進支援担当」、「プレ・アワード、ポスト・アワード、研究戦略推進支援担当」、の合計となる。従って、複数の業務に携わっている者は、重複してカウントされていることに注意が必要である。

(単位:人)

年度	計	年齢構成			
		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上
平成27年度	830	273	241	143	173



図表タイトル RAの配置状況（研究関連人材の内訳（主たる担当業務別））（研究開発型法人）



(注1)URA/RAの業務別人数については、複数の業務に携わっている者も1人としてカウントした。例えば「プレ・アワードに関与している者」は図表1の「主としてプレ・アワード担当」、「プレ・アワード及びポスト・アワード担当」、「プレ・アワード及び研究戦略推進支援担当」、「プレ・アワード、ポスト・アワード、研究戦略推進支援担当」、の合計となる。従って、複数の業務に携わっている者は、重複してカウントされていることに注意が必要である。

(注2)URA/RAの各業務には以下のようなものを含む。

- ①研究戦略推進支援(政策情報等の調査分析、研究力の調査分析、研究戦略策定)
- ②プレ・アワード(研究プロジェクト企画立案支援、外部資金情報収集、研究プロジェクト企画のための内部折衝活動、研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整、申請資料作成支援)
- ③ポスト・アワード(研究プロジェクト実施のための対外折衝・調整、プロジェクトの進捗管理、プロジェクトの予算管理、プロジェクト評価対応関連、報告書作成)

(出所)内閣府「独立行政法人等の科学技術関係活動等に関する調査」を基に作成。

	プレ・アワード	ポスト・アワード	研究戦略推進支援	プレ・アワード、 ポスト・アワード	プレ・アワード、 研究戦略推進支援	ポスト・アワード、 研究戦略推進支援	プレ・アワード、 ポスト・アワード、 研究戦略推進支援	その他(いずれにも該当しない)
平成26年	92	301	129	256	3	3	126	1048
平成27年	151	353	151	279	3	4	121	961

図表タイトル 若手研究者の自立と活躍のための環境整備状況(意識調査)

(出所)

文部科学省科学技術・学術政策研究所「NISTEP定点調査」を基に作成。

(注)

(注1) 本調査は、第4期科学技術基本計画中の平成23年度～平成27年度の5年間にわたって実施したものである。

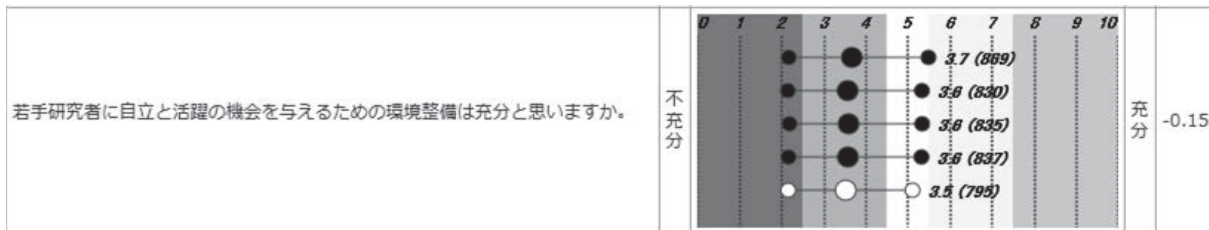
(注2) 調査対象者は、大学・公的研究機関グループ(約1,000名)とイノベーション俯瞰グループ(約500名)からなる。前者は大学・公的研究機関の長や教員・研究者から構成され、後者は産業界等の有識者や研究開発とイノベーションの橋渡しを行っている方などから構成されている。大学・公的研究機関グループには、大学や公的研究機関の現場の状況を中心に、イノベーション俯瞰グループには我が国の科学技術やイノベーションの状況を俯瞰的にみた立場からの回答を求めている。括弧内の数字は当該設問への有効回答数である。

(注3) 数値は、6段階評価(1～6)からの回答を、1→0ポイント、2→2ポイント、3→4ポイント、4→6ポイント、5→8ポイント、6→10ポイントに変換し、その合計値を有効回答者数で除したものを、指数のレンジは0.0ポイント～10.0ポイントとなる。図中の「指数変化」は、平成23年度調査結果から平成27年度調査結果までの指数変化である。

(注4) 指標の解釈にあたっての考え方としては、指数5.5以上で「状況に問題はない」、指数4.5以上～5.5未満で「ほぼ問題はない」、指数3.5以上～4.5未満で「不十分」、指数2.5以上～3.5未満で「不十分との強い認識」、指数2.5未満で「著しく不十分との認識」とされている。

(注5) 本表では、時系列に上から下に行くに従い新しい年度の調査結果を示す。一番上の結果が平成23年度、一番下の結果が平成27年度である。

(注6) 各年度の丸印は、左から第1四分位、平均値、第3四分位を表している。



図表タイトル 若手研究者の自立性の有無(意識調査)

(出所)

文部科学省科学技術・学術政策研究所「NISTEP定点調査」を基に作成。

(注)

(注1) 本調査は、第4期科学技術基本計画中の平成23年度～平成27年度の5年間にわたって実施したものである。

(注2) 調査対象者は、大学・公的研究機関グループ(約1,000名)とイノベーション俯瞰グループ(約500名)からなる。前者は大学・公的研究機関の長や教員・研究者から構成され、後者は産業界等の有識者や研究開発とイノベーションの橋渡しを行っている方などから構成されている。大学・公的研究機関グループには、大学や公的研究機関の現場の状況を中心に、イノベーション俯瞰グループには我が国の科学技術やイノベーションの状況を俯瞰的にみた立場からの回答を求めている。括弧内の数字は当該設問への有効回答数である。

(注3) 数値は、6段階評価(1～6)からの回答を、1→0ポイント、2→2ポイント、3→4ポイント、4→6ポイント、5→8ポイント、6→10ポイントに変換し、その合計値を有効回答者数で除したもの。指数のレンジは0.0ポイント～10.0ポイントとなる。図中の「指数変化」は、平成23年度調査結果から平成27年度調査結果までの指数変化である。

(注4) 指標の解釈にあたっての考え方としては、指数5.5以上で「状況に問題はない」、指数4.5以上～5.5未満で「ほぼ問題はない」、指数3.5以上～4.5未満で「不十分」、指数2.5以上～3.5未満で「不十分との強い認識」、指数2.5未満で「著しく不十分との認識」とされている。

(注5) 本表では、時系列に上から下に行くに従い新しい年度の調査結果を示す。一番上の結果が平成23年度、一番下の結果が平成27年度である。

(注6) 各年度の丸印は、左から第1四分位、平均値、第3四分位を表している。



図表タイトル 博士課程プログラムの満足度

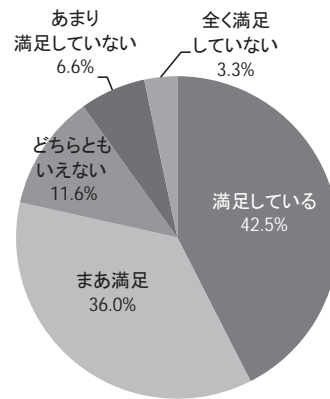
(出所)

文部科学省 科学技術・学術政策研究所「博士人材追跡調査」を基に作成。

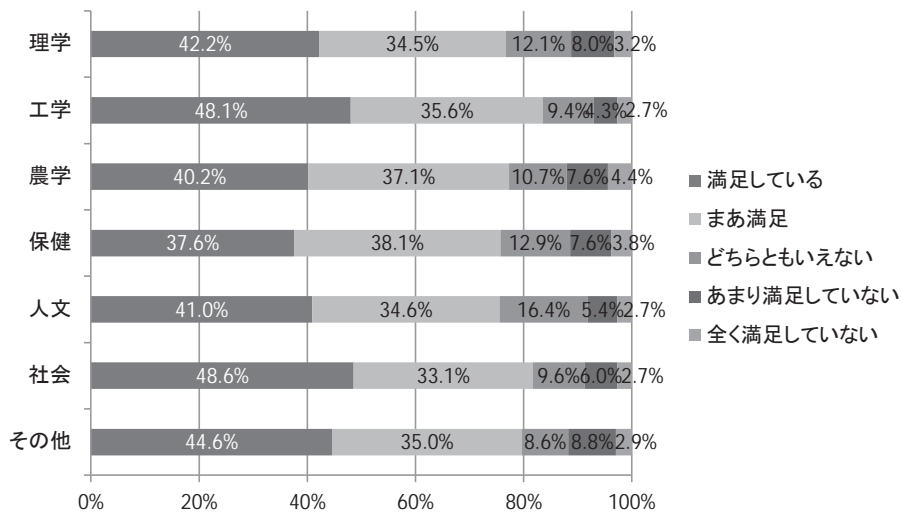
(注)

博士課程を設置する全ての大学で、平成24年度に博士課程を修了した者全員を対象(博士号取得の有無に関わらない)とし、これら対象における平成26年度11月1日現在の状況について調査を実施したもの。

	比率
満足している	42.5%
まあ満足	36.0%
どちらともいえない	11.6%
あまり満足していない	6.6%
全く満足していない	3.3%



	理学	工学	農学	保健	人文	社会	その他
満足している	42.2%	48.1%	40.2%	37.6%	41.0%	48.6%	44.6%
まあ満足	34.5%	35.6%	37.1%	38.1%	34.6%	33.1%	35.0%
どちらともいえない	12.1%	9.4%	10.7%	12.9%	16.4%	9.6%	8.6%
あまり満足していない	8.0%	4.3%	7.6%	7.6%	5.4%	6.0%	8.8%
全く満足していない	3.2%	2.7%	4.4%	3.8%	2.7%	2.7%	2.9%



図表タイトル 若手研究者(40歳未満)の科研費採択・不採択件数と採択に占める若手割合の変化

(出所)

日本学術振興会 科研費データ(年齢別・男女別・職別配分状況)(各年度)を基に作成。

(注)

集計対象は、科研費の基盤研究(S・A・B・C)・若手研究(A・B)・挑戦的萌芽研究・研究活動スタート支援に関して、研究代表者が40歳未満の採択／不採択件数と採択率を示している。

単位(上段・中段):件

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
採択件数	7,760	7,888	7,691	8,499	7,538	9,314
不採択件数	23,991	23,947	24,528	24,789	24,042	21,924
全採択数に占める若手割合	42.8%	41.9%	43.3%	41.0%	40.2%	37.6%

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
採択件数	9,231	9,406	9,425	9,270	9,246
不採択件数	20,952	21,208	21,439	21,284	21,030
全採択数に占める若手割合	38.2%	38.8%	37.7%	36.3%	35.8%

